

2020・教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ 「環境体験教室」			
題名・副題	サトウキビをかじり、世界の今を知ろう ～人間は何故お砂糖が好きなんだろう～			
月日・時間	1月31日(日) 10:00～12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館・2F 実験室			
部会・講師名	自然環境部会 石原靖文	参加数	14名	講師数 5名
写真				
	サトウキビの授業風景		砂糖の原料、種類、性質について学ぶ	
				
	サトウキビの皮をナイフで削った		皮をむいたサトウキビをかじりました	
成果解説	<p>この教室は、サトウキビをかじることをテーマに、子どもたち大人気的环境体験授業です。緊急事態宣言下でも14名が参加、小学校3年生以下が11名、4年生2名、5年生1名、全員でサトウキビをかじって地球温暖化の環境問題に強い関心を持ってもらいました。砂糖が脳のエネルギーになる健康の話、砂糖が地球上の寒帯から熱帯まで人間が住むところで、カエデの樹液、テンサイトウ、チクトウ、サトウヤシ、サトウキビなどのしぼり汁から、真っ白な上白糖や角砂糖、氷砂糖、ちょっと茶色い中ザラ糖、三温糖、どす黒い黒糖などが作られることを学習しました。</p> <p>学習の後は、本物の“サトウキビを削る”ことに挑戦、ナイフで怪我しないよう講師の指導のもと、注意深く、硬いサトウキビの皮を削りました。皮をむいたサトウキビをかじり、噛みしめて甘い味の実感を楽しみました。また、サトウキビから作られたキビ砂糖や黒砂糖も味わってもらい、甘さの比較をしました。授業後に参加者全員が、授業で使ったサトウキビをお土産として持って帰りました。</p>			